

令和7年度の教育活動等に対する学校評価書

令和8年2月12日

学校法人大雄学園志太こども園長
学校法人大雄学園学校関係者評価委員会長

内藤 朝雄
牧野 好洋

- 1 幼稚園の教育目標 心豊かな人間の育成
- 2 本年度の重点目標 たくましく なかよく
- 3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

| 評価対象 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価委員会 | |
|-------|-----------------------|------|--|------------|---|
| | | 評価点 | 園の成果や課題、改善点 | 評価点 | 意見 |
| 教育成果 | 親や子どもは園での教育活動に満足している① | A | <ul style="list-style-type: none"> ・子どものやりたい気持ちを大切に、楽しい保育教育活動を工夫して行った。 ・行事や活動のねらいを大事にし、子どもの育ちを支える保育・教育を行った。 ・子どもの園の生活や活動の様子を保護者に伝え、日常のコミュニケーションを大事にして、信頼関係を深めてきた。 ・保護者に我が子の姿から園の保育や教育を分かっていたらできるよう、これからも期待される園を目指したい。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・娘と息子の学年共に、先生方は行事や活動を工夫してやってくれている。また、手厚く保育もしてくれている。先生方には満足しており、信頼もしている。 ・園の先生達は優しく温かく、親は子どもを通してそのことを感じてくれていると思う。 ・親の評価項目のグラフが、①と②共に99%が満足と出ている。 |
| | 職員は親や子どもに信頼されている② | | | | |
| 教育課程 | 教育目標に沿った教育③ | A | <ul style="list-style-type: none"> ・教育目標「心豊かな人間の育成」に沿って、年間・月・週・日計画を立て、子どもの意欲を大切にしたい。 ・子どもを大切に保育・教育のために、保育教諭の資質・能力の向上を目指し、学年の子どもも理解、保育実践と振り返りを大切に積み上げた。 ・園行事は、ねらいを大切に楽しく行えた。今後も、子どもの発達に応じた内容を考えていきたい。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・園の教育目標に沿った教育保育活動への評価が、職員100%、保護者99%はすごいと思う。 ・一人一人に応じた保育や教育、温かく親切な言葉がけがあり、子ども達を大切にしたい保育教育をしていることが分かる。(95%が98%に上がった) ・園行事への評価も上がっている(90%が97%に)。園行事の中に親子の触れ合い遊びを取り入れたことが良かったと思う。 |
| | 一人一人を大切に、発達年齢に応じた保育⑤ | | | | |
| | 園行事⑩ | | | | |
| 教育環境 | 保育室、園庭、遊具等、園での教育環境④ | A | <ul style="list-style-type: none"> ・保育室、園庭、遊具等の保育環境が、保護者には好評である。 ・月1回の防災避難訓練と消火訓練を実施してきた。 ・防犯セキュリティーで来園者の確認を徹底した。また今年度、安全の為、門の施錠を2重ロックに変えた。 ・年間を通して、怪我防止のために遊具の正しい使い方の指導を行った。 ・今後も、子どもの安心・安全を最優先に保育教育を考えたい。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・志太こども園は、開園6年目であり新しい保育教育環境になっているから、保護者に好評だと思う。 ・毎月1回の避難訓練は回数が多いと思う。是非マンネリ化しないように。 ・近頃住宅地で、空き家が増えている。園でも、空き巣に気を付けてほしい。 ・門のセキュリティーの鍵を2重ロックに変えたのは、迅速で素晴らしい。 ・職員の安全な環境への満足度が27%と低いのは、逆に意識が高い証拠でいいと思う。 |
| | 安全な環境について配慮⑧ | | | | |
| 保護者対応 | 親や子どもに信頼されている② | B | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者とは、直接顔を合わせたコミュニケーション(子育て相談、個別相談、日々の登降園時での会話など)を大切に、子どもの共通理解を図った。 ・メールでの園だよりやクラスだより等の送信、ホームページで園での子どもの生活や活動の様子を伝えた。 ・子どものケガや体調不良などの保護者連絡等は、迅速に丁寧な対応に努めた。 ・今後も、保護者の誤解や不信を生まない丁寧な対応を心掛けたい。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育(わんぱく)を利用すると、担任と話すことが少なくなると思う。しかし、担任と話せない分、主任の先生や他の先生が対応してくれる。職員間で、子どもの事を共通理解してくれていると思う。 ・子どもの様子を知りたいと思ったら、親の方から先生に聞けば教えてくれる。親の方から聞いていくといい。 ・保護者の中には、「私は〇〇先生の大ファンだよ。」と言う人がいる。子どもが安心できる先生だからだと思う。 |
| | 子どもの様子を丁寧に伝えている⑥ | | | | |
| 連携 | 家庭や地域と連携した教育活動を行っている⑦ | A | <ul style="list-style-type: none"> ・しだっ子まつりや運動会、わくわくミュージックでは、親子の触れ合い活動を取り入れ、好評だった。 ・PTAボランティアによる園庭の冬芝種まきや、年2回の読み聞かせを行った。 ・今後、年長児が青島北小と青島東小に遊びに行く予定である。 ・地元の瀬古梅園に年長親子が梅狩りに行った。瀬戸川桜祭りに年長が参加し、地区交流センターに年中の絵画作品を出展した。 ・園や地域の行事には、保護者も積極的に参加や応援をして下さる。 ・地域の期待に応えるよう、継続的な協力を努めていきたい。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・地域には、子ども(園児)が参加できる活動の資源などが多いと思う。そこに、子ども達が関わりを持ってきて嬉しく思う。地域のグランドゴルフ大会や夏祭りに参加してくれる。 ・園として様々な地域の行事に参加してくれているので、地域でも何か子ども達の為に出来る事がないか考えたい。 ・かけはし期で、年長さんが安心して小学校と交流して欲しい。 ・青島北小は、駿河台こども園と連携することが多いが、これからは志太こども園との関わりも加速していきたい。 |
| | | | | | |
| 食育 | 給食や栽培など、食育が適切に行われている⑨ | A | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が夏野菜やサツマイモ、大根などを植え、水やり、収穫、そして給食でおいしく頂くことが出来た。 ・栄養士や外部講師による食育指導は、年齢に応じた体験活動を取り入れながら実施し、子どもの食に対する関心が高まった。 ・給食を食べない子どもに無理に食べさせる指導はしないよう、職員の共有理解の徹底を図った。 ・楽しくおいしい給食と、安全な給食の提供に努めていきたい。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・園の畑で子ども達が野菜作りを行っているのは素晴らしい。 ・園は、給食を無理に食べさせないと話したが、一口は食べようと促しているのが分かり、安心した。 ・自分の子ども以外の学年の大根の収穫の写真を掲示してくれ、他の学年の事が分かってくれた。その大根が給食に出て、我が子は嬉しそうだった。 |
| | | | | | |

評価点 A 十分に成果があった B 成果があった C 少し成果があった D 成果がなかった